

「葉っぱの研究」活動報告（春日市クローバープラザ）

2021.08.01

午前の部 10：00～12：00、午後の部 13：30～15：30

早朝から激しい雨に見舞われながらも
午前の部、午後の部ともにキャンセルはなく
15組（計30組）の親子に参加いただいた。



福岡県緑化センターの佐々木さんの挨拶の後
さっそく葉脈標本の準備にとりかかり、20～
30分煮出す間に「葉っぱのこすり絵（フロッター
ージュ）」と「葉っぱのつくり」についてのお話
をさせてもらう。

「葉っぱのこすり絵」にはソメイヨシノ・ケヤキ・イチョウ・カツラ・イロハモミジが用意された。なるべく濃い色を使い、葉っぱからはみ出るほどにクーピーを塗るとそれぞれの特徴のある葉脈が浮き出てきた。あっという間に全種類を塗り終わると新しい葉っぱを選びにきていた。おまけで持ってきたクワの葉は大きくて形も複雑だったので人気があったので別の機会でも使わせてもらおうと思う。

普段よく見る葉っぱでもそれぞれ形が違って大きさも色々、脈の入り方もちがうんだって



ことが分かってきたところで「葉っぱのつ
くり」のお話です。葉っぱは何で本のように
分厚くないのか、一枚一枚が大きすぎない
のか等をしおりの説明も交えながら
植物は動物と違って自分の体の中で栄養
を作って成長することが出来る、すごい存
在なんだという話に真剣に耳を傾けてい
ました。

最後は「葉脈のしおりづくり」です。キンモクセイ・ヒイラギ・ヒイラギモクセイを薬液
で煮出したものを歯ブラシで擦って葉脈だけにしていきます。種類によって上手くはがれ
ずに苦戦する場面もありましたが、親子で工夫しながら最後はきれいに剥がせていました。
折り紙を挟んだり、ラミネートの端をはさみで切って形を変えたりしてそれぞれが素敵な
しおりに仕上がりました。（参加スタッフ：大森・田川・高田・轟）

轟記